

北海道総合開発計画の推進

第9期北海道総合開発計画（令和6年3月閣議決定）の2つの目標に向かって、上川地域がめざす姿を共有し多種多様な主体と連携して計画を推進していきます。

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

上川地域のポテンシャル

豊富な農産物と食文化



お米



グリーンアスパラ



カボチャ



そば

魅力的な観光資源



靑い池(美瑛)



ラベンダー



樹氷(ピヤシリ山)



カヌー(天塩川)

ゼロカーボンに向けた取組



一の橋バイオブリッジ(下川町)



小水力発電(当永発電所)

計画の目標

目標1.我が国の豊かな暮らしを支える北海道
～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道

目標2.北海道の価値を生み出す北海道型地域構造
～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり

計画の実効性を高めるための方策

- 官民の垣根を越えた「共創」
- 社会変革の鍵となるDX・GXの推進
- フロンティア精神の再発揮
- 戦略的・計画的な社会資本整備

旭川開発建設部の共創の取組

旭川開発建設部では、地域課題の解決・価値創造に向けた活動や共創の取組を伴走支援します。

- 検討会・情報発信や共有等の【場の設定】
- 河川・道路空間等の公共施設を活用した【直接支援】
- 関係機関や団体との【調整や仲介】

道北地域づくりワークショップ



道北地域の未来づくりのため、地域の方々とアクションプランを作成

道路空間を活用した中継輸送実証実験



名寄市砺波の簡易パーキングでトレーラーヘッド交換の実証実験を実施



十勝岳インフラ・ジオツーリズム



美瑛町・上富良野町で、地域の方々と「インフラ・ジオツアー」のコンテンツを造成

共創パートナーシップ協定の締結



旭川農業高等学校と協定を結び、食、農及び観光等の学びの機会を提供

防災対策

1 災害支援



被災した地方公共団体へ緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）を派遣し、災害情報の収集や被災状況の迅速な把握、被害の拡大防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に行います。

令和6年9月20日からの大雨におけるTEC-FORCEの活動（令和6年10月石川県能登半島）ドローンによる被災状況調査（河川班）

2 防災訓練



災害に備え、気象台や自衛隊、北海道、市町村などの関係機関と連携し、地震、洪水、火山噴火などを想定した防災訓練を行っています。

十勝岳の噴火を想定した関係機関との合同訓練（令和7年2月）